

佐土原 R C
週報



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

Real Happiness is Helping Others
ごとの幸福は人助けから

職業奉仕・米山月間

1992.10.2(金)第240回例会

1. 点 鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング(秋の思い出)
4. 「四つのテスト」唱和
5. 食 事
6. 会長の時間
7. 幹事報告
8. 各委員会報告
9. 9月セレモニー(誕生日祝い)
10. 会員卓話 神宮寺 利夫君
11. 点 鐘

第239回例会記録
(1992.9.25)

会長の時間 岩切正可

皆さん今日は、本日は第239回例会です。昨日は当クラブの親睦ゴルフ大会が行われ、私は残念ながら所用のため参加できませんでしたが、生憎の悪天候にもかかわらず、参加された会員の皆さんは和気藹々のうちに健闘され、スコアもまずまずであったと伺っています。入賞者の発表が楽しみです。

ところで、今日は彼岸の6日目になります。ご承知のとおり、彼岸は春分、秋分の前夜各3日間合計7日間で、わが国では最も気候のよい時期です。

彼岸とは到彼岸の略語で、仏道に精進し、悟りを開き、仏の域に達する意です。

しかし、彼岸を一般世間ではどうとらえているかといいますと、お墓参りをし、祖先の

供養をすることであると思っています。なお彼岸は日本だけにある仏教行事です。

仏教は印度で発祥し、中国から朝鮮を経て日本に伝来しました。しかし、印度や中国や韓国には彼岸法要はありません。彼岸は、四季のはっきりしている温帯地方に芽生えた法要であろうと思います。

日本という国は祖先崇拝の念が極めて強い国です。同じ東北アジアに属する、隣国の韓国や台湾も同様に祖先崇拝の強い国です。

これは、祖先を大事にするために仏教があると、これらの国の人々は受け止めているからでしょう。

例えば、同じ大根の種子をA畑とB畑に蒔いた場合、種子は同じでも育ちは違います。宗教や文化にしても、発祥の地から伝わって行った先の土壌によって育ち方が違うようです。

私は、彼岸とロータリーは相似点があると思うのです。

ロータリーは、アメリカで発祥した、すばらしい哲学(奉仕の理想)に基づいた奉仕団体ですが、日本では、ロータリーは社交団体である、多くの異業種の人と知り合うことはメリットがある、といった日本的発想でとらえがちであります。

従って、ロータリー・クラブに対する世間の認識も、「金持ちの暇人の昼飯会」程度であるといわれています。

日本人は哲学的思考力が欠如しているようですが、農耕民族と遊牧民族の違いでしょう。

アメリカの大統領が、国内景気的好・不況のバロメーターにするのは、各種団体への寄付金の多寡だそうです。ところが日本では好況だからといっても各種団体への寄付金に直接反映するとは限りません。わたしたちは寄付行為などにはあまり意欲的でない傾向があるからです。

歴史的に考えてみますと、我が国の文化は中国から伝来したものが多くのですが、特に精神文化の中心となったのは、孔子・孟子の思想、儒教、道教です。自分や自分の一族を大切にする華僑や韓国人の生き方と、日本人の生き方はよく似ています。

以上のことをまとめてみますと、物事の本筋を見失うと本末転倒のおそれがある。しっかり本筋を見定めなければいけない。哲学的な考え方にむしうでもなじんでいくことがわれわれには必要である。そうして、他人のためにも役に立つ人間になる。即ちローターの奉仕の理想に追んで入っていく心掛けが大切である、ということになります。(要旨)

幹事報告 藤堂 孝一

1. 例会変更通知
 - ・日向 東RC 9月29日と10月1日 12:30、門川文化会館に変更(門川RC合同例会)
 - ・門川RC 10月1日 門川文化会館に変更
2. RI第2730地区大会出席者の確認を10月2日の例会にします。多数のご参加をお願いいたします。
3. 宮崎市郡6RC会長、幹事会が、12月1日に宮崎市で開かれます。

出席報告 委員長 神宮寺 利夫

会 員 数	16名
欠 席 者 数	3名
H C 出席者数	13名
出 席 率	81.25%
欠 席 者 名	井下・正岡・郡可

ビ ジ タ ー

西都RC 福本 博君
高鍋RC 高山 昭康君

クラブ奉仕委員会より 委員長 佐野 保

9月12日、宮崎市で宮崎県全体のクラブ奉仕委員長会議がありました。概要は次のとおりです。

1. 例会は目的意識を持って出席すること。
2. 各委員会の情報により、例会の活性化、窮屈感づくりをすること。
3. 会費(会費自身も)の増強と新会員の同化促進。
4. 質疑及び意見交換

会 員 卓 話 佐野 保

- (1) 昭和22年12月1日に非戦災者特別税が制定されました。これは、戦災者との不均衡に対する調整を図るためのものでした。税率は家屋の賃貸価格の $\frac{300}{100}$ でした。
- (2) 取引高税が昭和23年7月7日に制定され、昭和24年12月に廃止されましたが、これが消費税の始まりであると思われます。今また、消費税の税率が検討されています。
- (3) 国土利用計画法の基準地の地価が宮崎県平均では、商業地(-1.6%)、住宅地(-0.3%)となっているようです。ところで、税法では相当の賃貸地代を土地の時価のおよそ8%としています。土地の高騰で都市では借り手がいないということです。ある学者の会合での話ですが、「ビルのごとで、土地代も税金も税務署が言うようにして払ったのだから、そのビルは税務当局に借りて貰うことが、税務署が指示している社会通念上適切な処理方法であると考え」とその学者が発言したので出会者一同大笑いたということでした。(要旨)